

ゴーへ (Go Ahead)

おはなし
 灯籠流しの夜。波にゆれる鎮魂の灯。遺されたものたちは心に深い傷と喪失感を抱え、呆然と立ちすくみ、かすむ灯を見つめている。それぞれのつばやき、叫び、呼びかけの音が交差する。“あかねちゃん” “おとうさん” タケシ！ “” しいちゃん “” あすかー！ “” ママァー “” ばあちゃん “ごめんね、苦しかったね、ゆるしてね。その足元に「ケロケロケロ」カエル！？「しっかりしてケロ」「エッ？」「なげかないでケロ」「エーッ、タケシ？タケシなの？」あっちでもこっちでも不思議な者たちが遺族たちに語りかけている。フクロウ、クモ、こうもり、でんでんむし etc.

♪ぼくたちはいつだって 君のそばに居るのに 気づいてくれないんだから 今日空の神さまから 仮の姿をお借りしてきたんだよ やっと見つけてくれたね
 ふしぎな者たちは、とてつもなくひろーい、おっきなところに居るけど、そこには時間とか距離なんか無い。ふしぎな者たちと遺された者たちとのユーモラスでファンタスティックな触れ合いを通して、先祖から脈々と受け継がれた七ヶ浜気質。Go Ahead先取りのスピリットに気づいてゆく。

震災後、被災地において初めて創られるミュージカル。七ヶ浜国際村パフォーマンスカンパニーが演じます。第一部は、今年のだんまき通りストリートジャズフェスティバルでフィナーレを飾ったパーカッショングループGroove7の演奏、そして第二部は梶賀千鶴子書下ろしによるオリジナルミュージカル。10年のキャリアを誇るNaNa5931のメンバーが演じます。それぞれの舞台は、この土地から子どもたちの未来を創ろうとする作品です。七ヶ浜から発信される元気なステージをお楽しみください。

パーカッショングループ Groove7



2001年、七ヶ浜国際村を拠点に活動を始めたパーカッションアンサンブルグループ「Groove7」。アフリカの楽器、ジャンベやカシシ、アゴゴなどに加え、マリンバやタムタムなど演奏する楽器の種類を増やしながら、プロのミュージシャンの指導を受け活動を続けている。

2007年4月からは「七ヶ浜国際村パフォーマンスカンパニー」の1グループとして、ミュージカルグループのNaNa5931とともに互いに切磋琢磨し独自の音楽活動を通じた演奏活動の向上に努めている。

仙台での「定禅寺ストリートジャズフェスティバル」へは10年連続の参加。2007年と2011年はそのフィナーレでも演奏を披露し喝采を浴びた。国際村における定期的な公演では、「Groove Factory」と銘打った単独コンサートを展開してきた。

ミュージカルグループ NaNa5931



七ヶ浜国際村の劇場付きミュージカルカンパニーとして2001年4月に設立。今年で11年目を迎えた。小学生から社会人までのメンバーで構成された約40名は、毎週木曜日の定期レッスンを中心に活動を行いミュージカルを通じた身体表現の研鑽を重ねている。2002年11月七ヶ浜国際村開館10周年記念事業としての旗揚げ公演「NANA」を皮切りに、2005年2月には宮城県民会館での公演「MEGURU」を、2006年11月には町のキャッチフレーズ「うみ・ひと・まち」三部作の最終作となるオリジナルミュージカル「KAIRI(海里)」を、2007年には七ヶ浜国際村開館15周年を記念したオリジナルミュージカル「太陽と星の記憶」を、一昨年は七ヶ浜町町制施行50周年を記念したオリジナルミュージカル「KIZUNA」を、一昨年には、旗揚げ公演「NANA」を現代風にアレンジし、更にクオリティの高い作品となった「NANA'09」を見事成功させ、毎回成熟を見せる舞台表現で、近年評価が高まっている。七ヶ浜に根付いた、このまちだからこそ発信できる作品づくりを目指した舞台へをご覧ください。

メンバー

Groove7	青木 美月 尾形 蓮 所 沙紀子	阿部 駿 鎌田 理奈 所 美沙子	阿部 鞠 佐藤 寛	岩本 蘭奈 佐藤 由子	岩本 瑠衣 鈴木 一真	内海 楓香 瀬戸 瞳	遠藤 朱音 高橋 杏佳
NaNa5931	青木 健太 上原 千佳 窪田 彩夏 鈴木 萌衣 星 洸佳 渡辺 悠	浅野 那未 尾形 各務 窪田 菜海 高橋 愛理 宮崎 結衣	池田 望 尾形 研良 後藤 綺香 土井 実莉 村上 楓佳	石橋 美奈 加藤 彩 後藤 悠貴 土井 雄斗 森 奈々美	和泉菜々子 加藤 恵多 佐藤 海 中澤 利江 吉田 琴葉	猪俣 裕菜 加藤 菜 佐藤 響 橋浦ほのか 米 夏紀	上原 健太 鎌田恵利加 鈴木 日陽 星 さや香 渡辺詠瑞里

作・演出・振付・衣装デザイン



梶賀千鶴子

宮城学院女子大学卒業。演出家・ミュージカル作家。劇団四季に「ユタと不思議な仲間たち」、「人間になりたかった猫」、「エリックコスモスの239時間」、劇団わらび座に「きらきら風の旅冒険」など多くの創作ミュージカル作品を提供し、演出振付を担当。またシンセサイザーの富田勲氏制作のオペラや、松本幸四郎氏主演ミュージカル「ZEAMI」の演出などを担当。七ヶ浜町国際村には、01年よりオリジナル作品の提供ならびにNaNa5931へのミュージカル指導を続けている。SCSミュージカル研究所主宰。

音楽・プロデュース



廣瀬純

舞台プロデューサー、シンガー&ソングライター。東北学院大学文学部卒業。大学卒業後、サラリーマンを経て、90年SCSミュージカル研究所(SCS)設立。以後、自治体や各種団体からの受託による創作舞台制作、創作ミュージカルの海外公演、コンサート、作曲等を続けている。01年より七ヶ浜国際村においてNaNa5931およびGroove7のプロデュースを続けている。この他現在プロデュースを担当している団体には、SCSミュージカル研究所(仙台)、みちのくミュージカルシアター(岩手県)、よねざわ市民ミュージカル伝国座(山形県)などがある。有限会社純クリエイション代表取締役。

Groove7音楽監督・指導



星律子

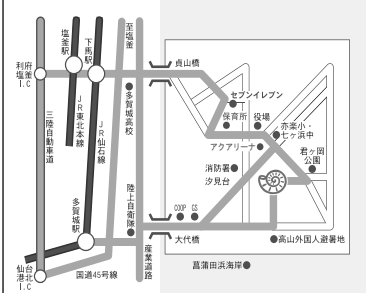
仙台市生まれ。常盤木学園高等学校音楽科卒業。国立音楽大学打楽器科卒業。武岡賞受賞。マリンバを草刈とも子、安倍圭子、打楽器を岡田智之、網代景介の各氏に師事。大学卒業後仙台フィルハーモニー管弦楽団に入団(80年~85年)。また、女性だけのパーカッションアンサンブルグループを結成し、マリンバ、パーカッション奏者として様々な形態での演奏活動を続けている。09年には七ヶ浜国際村でレコーディングした1stアルバム「ガーデン」をリリースし好評を博している。

スタッフ

Groove7 (一部)	○Groove7音楽監督 星律子	○照明 山口清史(影創屋)	○音楽進行 草薺潤一
	○音楽 星律子+ヒロセ純+y 2	○音響 緒方晴英(コルチパレー)	○演出振付助手 段家亜紀子
		○舞台装置 今野芳明(ファクトリーK)	○賛助出演 SCSミュージカル研究所 ドリームキャスト
		○舞台監督 小林道子(舞台監督工房)	○レッスン指導 (NaNa5931) 梶賀千鶴子 SCSミュージカル研究所 鈴木由美、草薺潤一、段家亜紀子
NaNa5931 (二部)	○作・演出・振付 梶賀千鶴子	○館内装飾監修 迫俊通(アザマ)	(Groove7) 星律子、布田恭子
	○音楽 ヒロセ純+y 2(作曲)	○衣裳 SCSミュージカル研究所衣裳部	○プロデュース 廣瀬純(純クリエイション)
	只野展也(編曲)	○衣裳製作協力 七ヶ浜おはりこーず	

交通のご案内

□電車・バス
 JR仙石線多賀城駅下車し、七ヶ浜国際村行きの臨時バスに乗り。七ヶ浜町民バス「ぐるりんこ」ご利用の方はJR仙石線本塩釜駅下車し、もよりのバス停から乗車。七ヶ浜国際村入り口バス停で下車し、徒歩5分。
 □自動車
 仙台市中心部から国道45号線または産業道路を利用。陸上自衛隊多賀城駐屯地前の交差点を七ヶ浜方面に右折し、七ヶ浜国際村をめざします。(仙台駅から約45分)
 □タクシー
 JR多賀城駅より約20分。
 □無料駐車場有り
 第1駐車場200台
 ※当日は駐車場の混雑が予想されます。ご来場の際は相乗り等のご協力をお願いします。



臨時バスチケットのお求めは

臨時バスをご利用の際は、必ず臨時バスのチケットをお買い求め下さい。
 ※臨時バスのチケットは、七ヶ浜国際村でのみご購入いただけます。

19日 多賀城駅発 17:00	20日 多賀城駅発 10:00 14:00
国際村着 17:20	国際村着 10:20 14:20
国際村発 終演の15分後	国際村発 終演の15分後

【料金：片道500円】